

日本証券新聞社 主催

個人投資家向け IRセミナー



コスモ・バイオ株式会社

(証券コード:3386)

2017.4.12

www.cosmobio.co.jp



コスモ・バイオ



人と科学のステキな未来へ
コスモ・バイオ株式会社



ライフサイエンス(バイオ)の

研究発展に寄与する

専門商社 であり、

自社 **製造** も行っています

ライフサイエンスに関わる研究者の皆様のお役に立つために、
最先端の研究用試薬を豊富に取り揃えています



目次

1. 会社概要 p. 4
2. 事業内容と特徴 p. 8
3. 業績動向 p. 20
4. 中期的な取り組み p. 25
5. 株主還元 p. 33

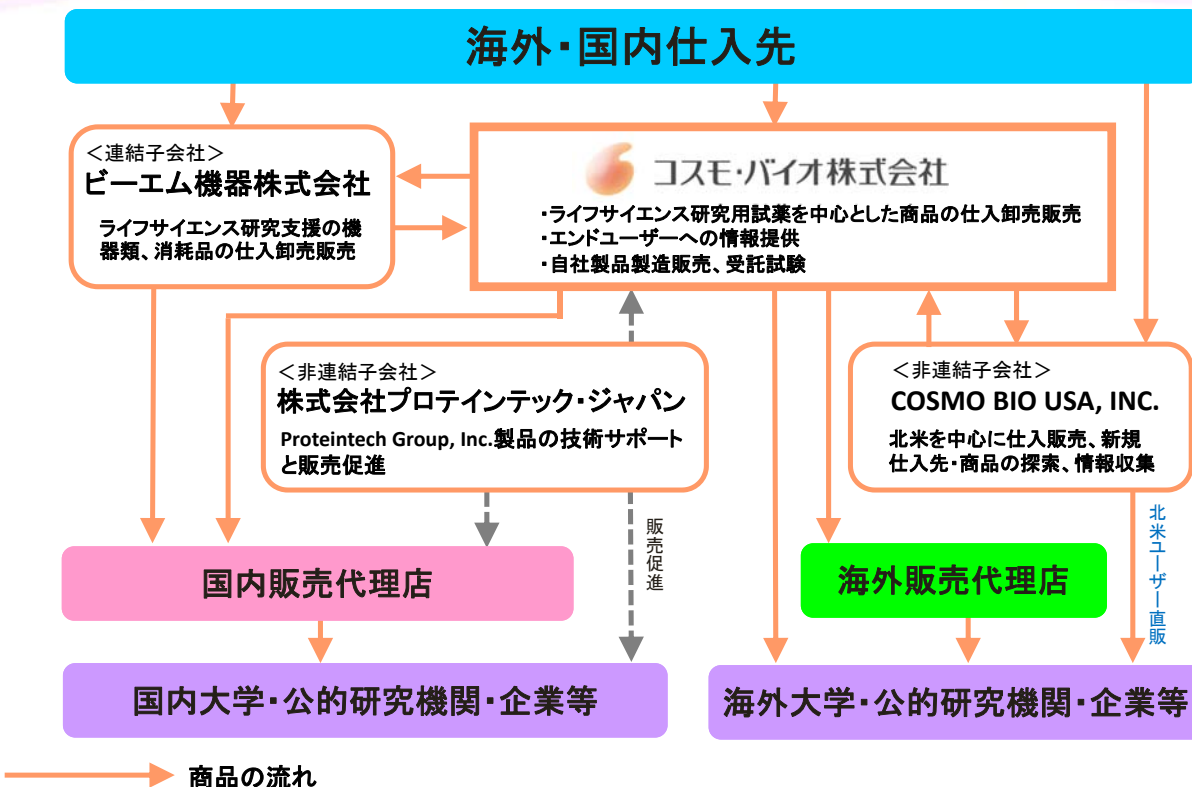
1. 会社概要

www.cosmobio.co.jp

会社概要

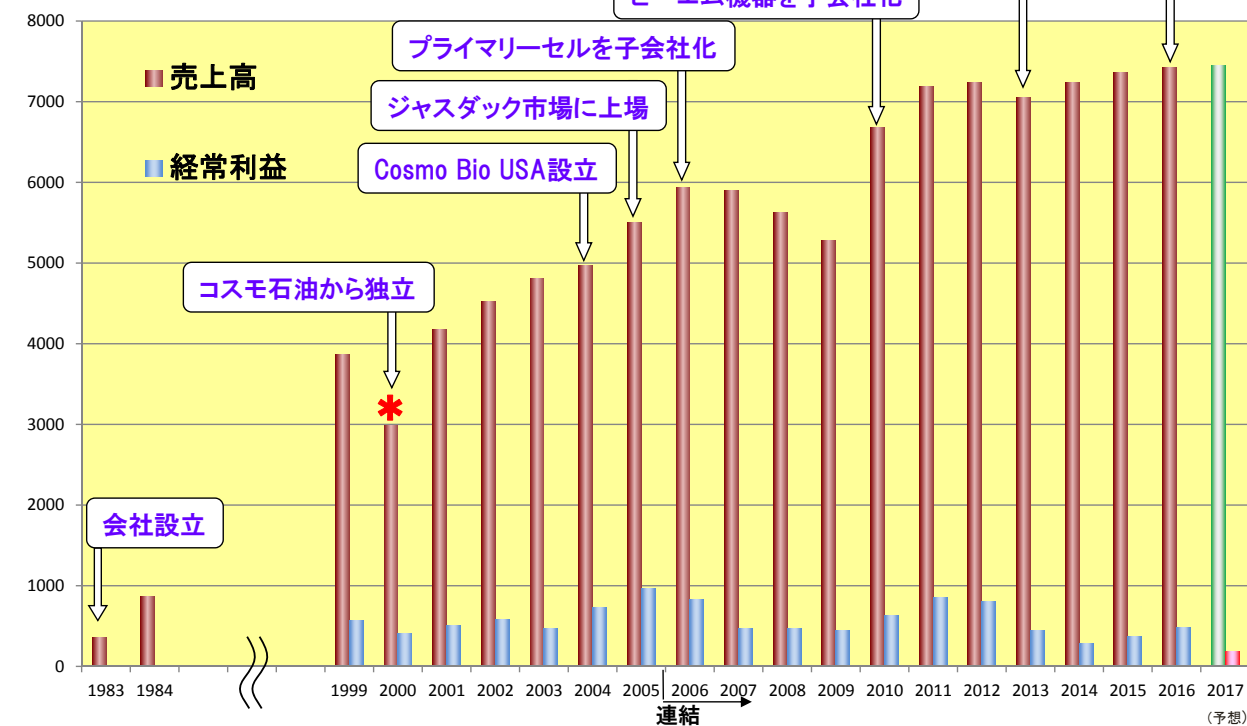
社名:	コスモ・バイオ株式会社	
業種:	卸売業	
上場市場:	東京証券取引所JASDAQ	
コード:	3386	
本社所在地:	東京都江東区東陽二丁目2番20号	
代表者:	代表取締役社長 櫻井 治久	
設立:	1983年8月25日	
事業内容:	ライフサイエンスに関する研究用試薬、機器、臨床検査薬の仕入(一部自社製造)及び国内・海外販売	
資本金:	918百万円	
事業年度:	1月1日から12月31日まで	
従業員数:	連結:127名 個別:99名 (2016年12月31日時点)	
連結子会社:	ビーエム機器株式会社	
非連結子会社:	COSMO BIO USA, INC.	
	株式会社プロテインテック・ジャパン	

グループ会社の役割



当社の歩み

売上高(百万円)



*(2000年は4-12月の9ヶ月決算)

2. 事業内容と特徴

www.cosmobio.co.jp

コスモ・バイオは何をしている会社？

ライフサイエンス研究



・ライフサイエンス研究は・・・
医療分野だけでなく、
私たちの生活を支える
経済や社会の発展にも
大きく役立っています。

コスモ・バイオは
研究に必要な
薬品(=試薬)や
実験道具(=機器、消
耗品)を
世界各国から種類豊富に取り
揃えて、ライフサイエンス
研究を支援しています。

Q.何を売っているの？

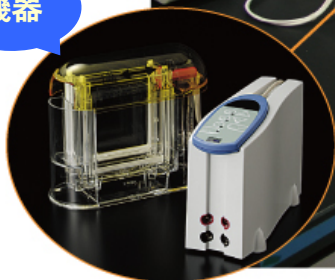
取扱商品の一例

試薬



培地、緩衝液など

機器



小型実験機器

試薬



キット(試薬セット)

試薬

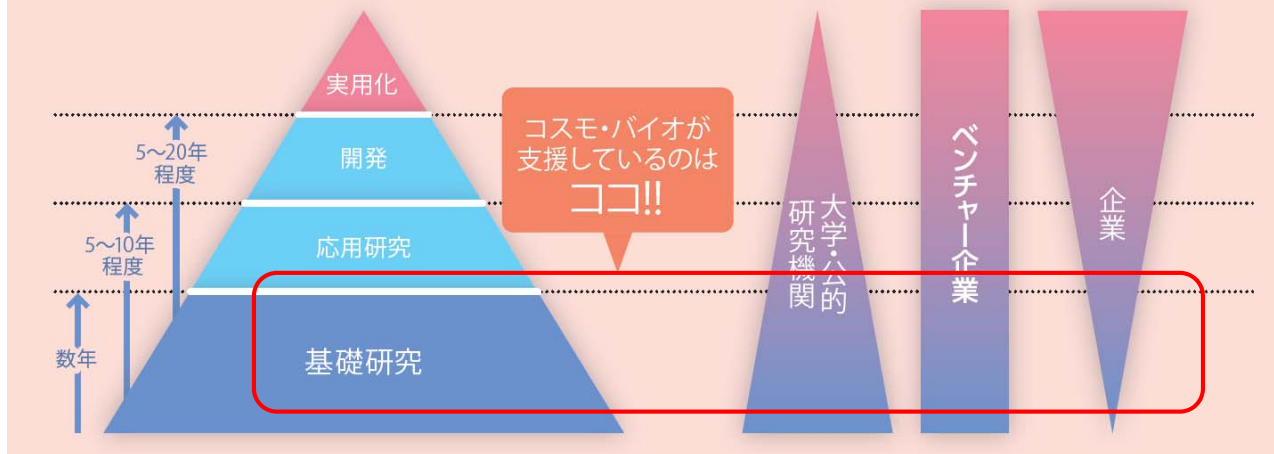


抗体・生理活性物質など

ライフサイエンス研究とユーザー層 -1

➤ 研究ステップ

➤ 各研究ステップの研究機関（ユーザー層）



ライフサイエンスの技術が実用化されるまでには
とても長い年月がかかっています。
コスモ・バイオはその研究の第一歩である、「基礎研究」を行う
研究者向けに、研究用試薬・機器を販売しています。

ライフサイエンス研究とユーザー層 -2

大学

公的研究機関

企業

・国から提供される

- 運営交付金
- 競争的資金(例:文部科学省の科研費)
などの資金をもとに研究活動を行う。

理化学研究所(文科省)
産業技術総合研究所(経産省)
医薬基盤・健康・栄養研究所(厚労省)
...

製薬会社、食品会社、
化粧品会社、
ベンチャー企業、...

・各企業の事業計画や開発プランなどに基づき、**基礎研究にどのくらい「投資」するかの予算**が生まれ、その資金をもとに研究活動を行う。

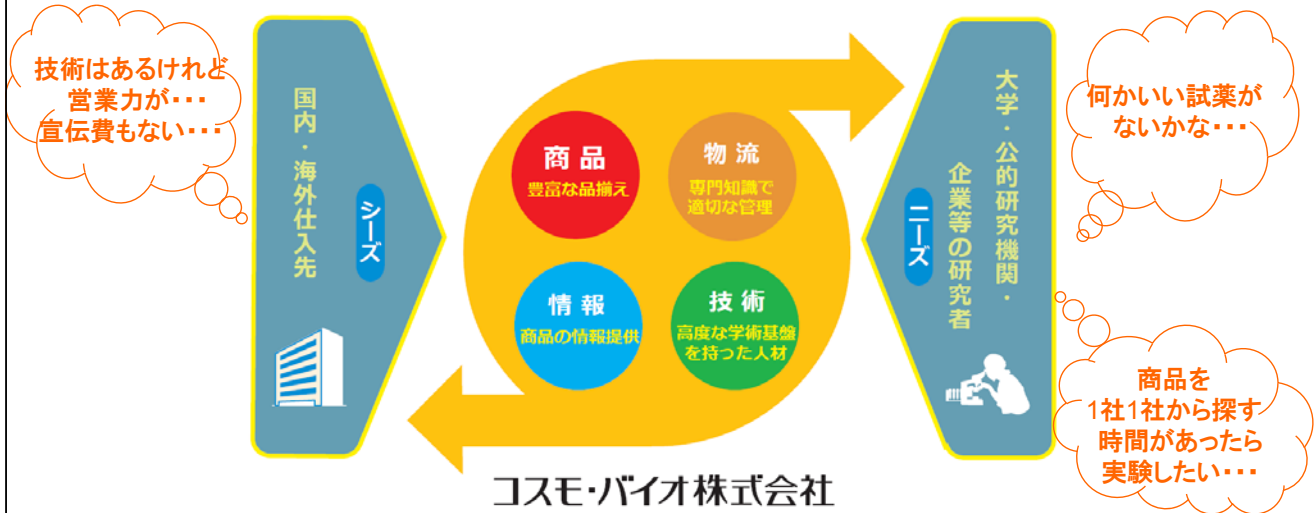
基礎研究を支える科研費予算(文部科学省)



膨大な商品・情報(シーズ)と 多様なユーザーニーズとのマッチング

研究者が求める専門的で高度なニーズに対応するために、
専門性の高い人材とノウハウを蓄積し、膨大な商品・情報(シーズ)と
多様なニーズとのマッチングに努め、研究活動をバックアップ

[ニーズとシーズのマッチング]



商品 約1200万の豊富な品揃え

豊富な品揃え、
その理由は？

- 幅広い基礎研究&ひとりひとり異なる実験
- 核酸やタンパク質などの膨大な生体試料を材料とした多種多様な試薬
- 多様な生命現象を研究するための様々な視点からのアプローチ

商品がたくさん
あつたら...

- コスモ・バイオで探せば何でもある
(第一に選んでいただける)
- 「こんな試薬もあつたんだ」
→じゃあ、こういう実験もできる！
(新たなインスピレーション)
- 万が一お求めの商品がご提供できない場合にも、
類似の代替品があり、研究活動をサポート

とまあ
コスモに聞け
ば何でもある

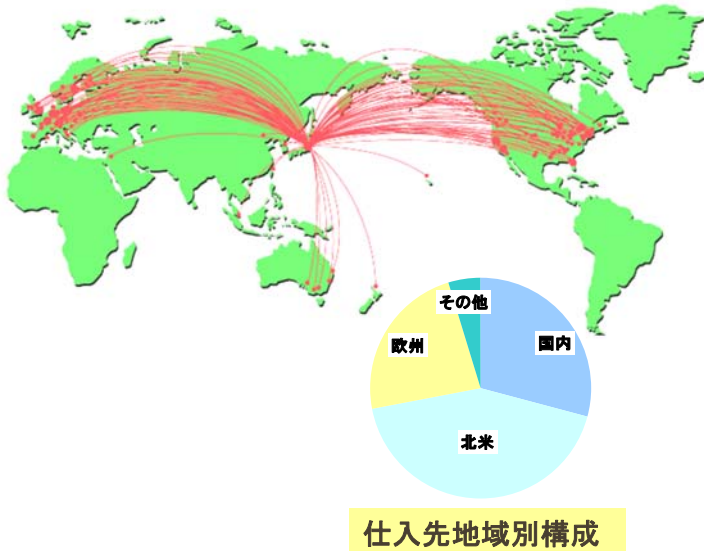
なければ
探してくれるし

なければ
作ってくれる

コスモ・バイオにお任せください！

商社機能

世界中の約600社の仕入先



メーカー機能



札幌事業部にて
自社品の開発・製造

- ・各種初代培養細胞製品
- ・各種細胞株
- ・各種培地
- ・老化・糖化アッセイ
- ・腸内フローラ解析
- ・ペプチド合成
- ・抗体作製
- ...

Q.なぜ、自社品開発？



- ・コーポレートブランドの浸透
- ・研究者の声から、**これまでになかった試薬**の開発
- ・M&Aなどによる仕入先消失の売上減リスク回避
- ・為替動向に左右されない収益構造の確立

自社ブランド商品数:約7万品

Q.どうやって開発？



- ・当社札幌事業部にて商品開発
- ・研究者のノウハウや知的財産を活かして商品化
- ・期待のテーマに対する研究支援や積極投資

自社開発事例



抗糖化アッセイキット



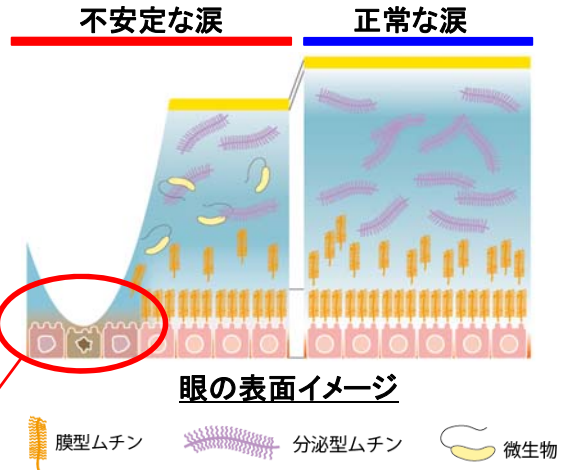
ドライアイとは？

→涙の量が減る「**量的な異常**」、涙の性質が変化する「**質的な異常**」からくる目の表面の健康が損なわれる症状。

従来、「**質的な異常**」の測定には、涙液中の**ムチン**という物質の濃度を測定していましたが、測定には時間がかかっており、データにもばらつきがありました。



当社にて、測定時間を**半分以下**に短縮し、**安定した実験データ**が得られる製品を開発。大学、製薬会社、食品会社等の基礎研究の現場で使用されています。



表面が傷つきやすい

眼の表面イメージ

各種商品情報提供ツール



ニュースレター



ホームページ／商品検索システム



各種カタログ



セミナー・展示会



業務効率化を目的とし、
2016年10月より、基幹システムを刷新

- 在庫商品は、翌営業日の朝10時までには代理店にお届け
- 代理店から研究者へは、手渡しでその日のうちに納品

室温、4℃、-20℃、-70℃、液体窒素（-196℃）の保管エリアがあります。

適切な温度管理を必要とされる商品がほとんど。

適切な在庫設定や保管により、研究者に高品質な商品を迅速にお届けします。



3. 業績動向

連結業績ハイライト(前年同期比)

(単位:百万円)

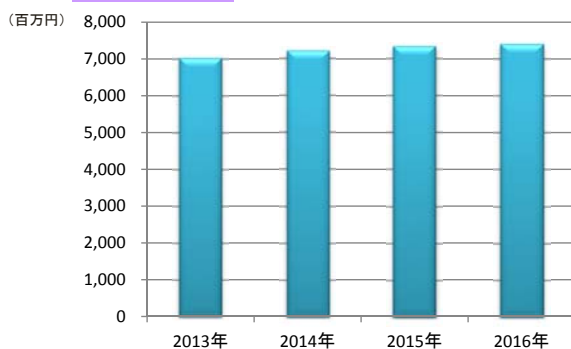
	2015年	2016年	増減額	増減率
売上高	7,357	7,427	70	1.0%
売上総利益	2,380	2,772	391	16.4%
営業利益	200	514	313	156.3%
経常利益	373	483	110	29.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	230	254	23	10.4%

(単位:百万円)

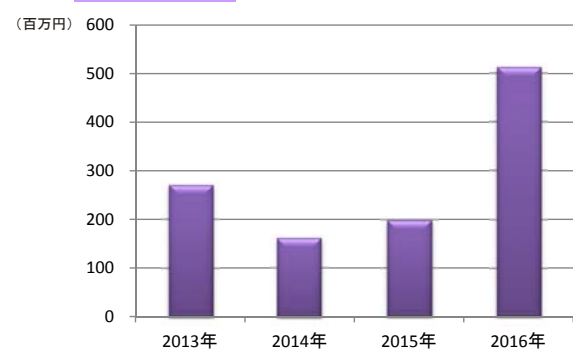
	2015年12月末	2016年12月末	増減額
総資産	7,790	7,934	143
純資産	6,378	6,581	203
自己資本比率	76.4%	77.3%	

業績推移

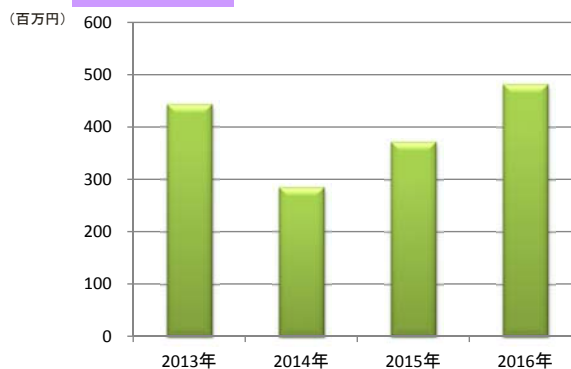
<売上高>



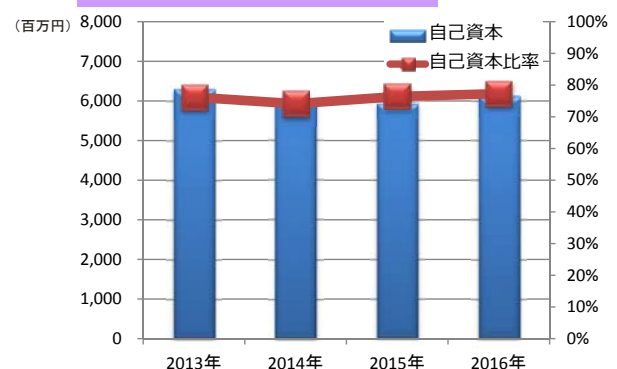
<営業利益>



<経常利益>

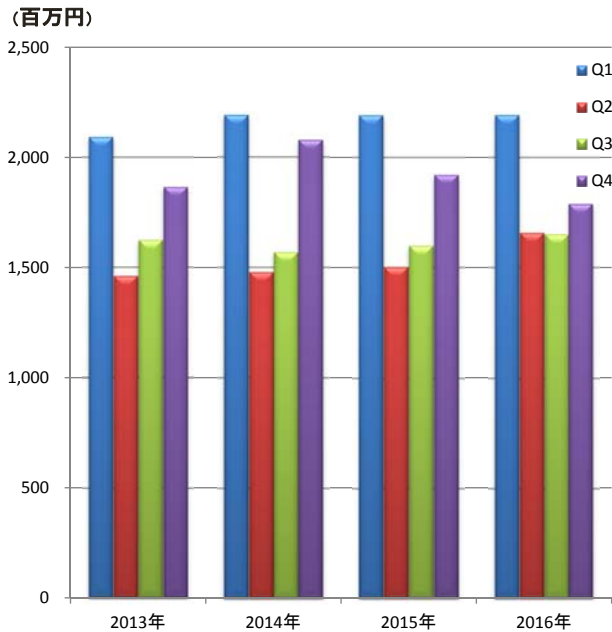


<自己資本/自己資本比率>

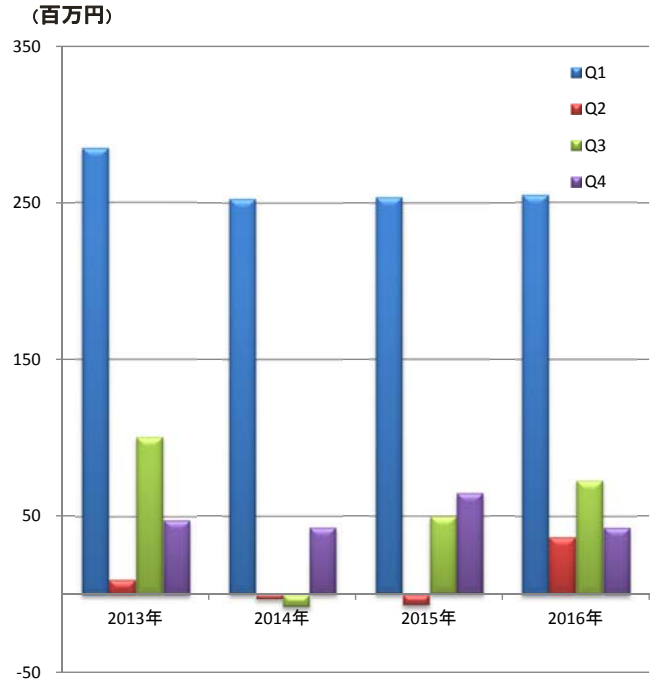


四半期別動向(売上高、経常利益)

売上高



経常利益



2017年12月期の連結業績見通し

(単位:百万円)

	16/12月期 実績	17/12月期 予想	対前年比	
			増減額	増減率
売上高	7,427	7,500	72	1.0%
営業利益	514	115	△399	△77.6%
経常利益	483	180	△303	△62.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	254	105	△149	△58.7%

平均為替レート	16/12月期 実績	17/12月期 予想
円/USドル	111円	115円
	16/12月期 通期	17/12月期 (予定)
配当額	18円	14円

2017年は投資の年

4. 中期的な取り組み

www.cosmobio.co.jp

2016年から始めた取り組み

商社としての変革

- エンドユーザー訪問営業強化
- (株)プロテインテック・ジャパン設立



既存事業をしっかりと
ユーザーとの繋がりを強く
メーカーとの繋がりを強く

メーカー機能の強化

- ペプチド・抗体製造受託事業開始
- 札幌事業拠点拡張プロジェクト



新たな事業の柱
自社品の製造
自社ブランドのサービス

札幌事業拠点拡張プロジェクト

初代細胞製造等

ペプチド・抗体製造事業



研究用試薬の自社開発・製造および
受託サービス事業をさらに強化・拡大



地鎮祭の様子

札幌事業所を建設し、
9月より稼働予定

例

新たなビジネスモデルへの投資

NEDO の平成28年度「中堅・中小企業
への橋渡し研究開発促進事業」に採択

テーマ:「鶏卵バイオリクターを用いた
組換えヒト サイトカイン試薬製造」

2017年からの取り組み(3ヶ年計画)

経営ビジョン

『生命科学の研究者に信頼される事業価値を高める』

重要課題

研究者から信頼を戴く

既存事業基盤の強化

新たな事業基盤の創出

企業価値の向上

2017年からの取り組み

既存事業基盤の強化

商社として

情報力

情報の即時発信
製品の性能
法令・納期

製品力

特長のある商品・サービス
適正在庫、納期短縮

提案力

課題解決型営業の強化
ユーザー密着型の
営業体制

メーカーとして

開発力

自社製品・サービス
産学官連携の強化

新たな事業基盤の創出

- 新規事業の創出 — 従来とは異なる成長分野を積極的に開拓
- 資本・業務提携 — 競争力の維持・強化、事業拡大、コスト削減

企業価値の向上

- 業務効率化
- 人事評価制度改革
- リスク管理
- CSR活動

コスモ・バイオが目指す会社

ライフサイエンス研究の
最新情報を常にウォッチ

信頼される、
選ばれる会社

生命科学の研究者にとって他にない
特別な存在として必要とされる会社に

研究者にとっての
ベストパートナー

課題解決型営業の強化で
研究者を迅速サポート

知りたいことがすぐに判る
情報の発信

5. 株主還元

www.cosmobio.co.jp

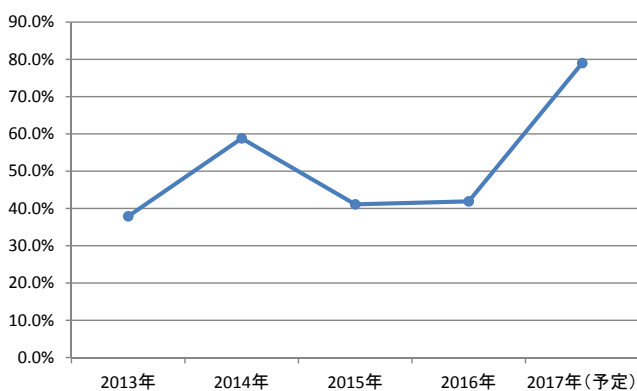
配当について

	1株当たり配当額		
	中間	期末	合計
2017年 12月期	6円(予定)	8円(予定)	14円(予定)

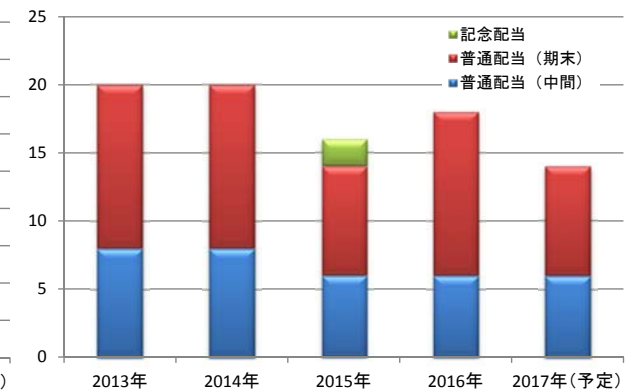
今期の業績予想に基づき、年間14円の配当を予定しております。

連結配当性向は79.0%となります。

連結配当性向の推移



(円) 1株当たり配当額の推移



- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述部分は、当社が本資料作成時点において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきくださいますようお願いいたします。
- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社株式への投資勧誘を目的としておりません。

《IRに関するお問い合わせ先》
コスモ・バイオ株式会社 総務部
ir-contact@cosmobio.co.jp

当社IRサイト
<http://www.cosmobio.co.jp/ir>

参考資料

主な連結経営指標等の推移

	2012年 平成24年	2013年 平成25年	2014年 平成26年	2015年 平成27年	2016年 平成28年
売上高(百万円)	7,241	7,050	7,235	7,357	7,427
経常利益(百万円)	801	444	285	373	483
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	411	313	201	230	254
純資産額(百万円)	5,720	6,797	6,532	6,378	6,581
総資産額(百万円)	6,955	8,277	8,161	7,790	7,934
1株当たり純資産額(円)*	882.27	1,064.59	1,020.56	1,003.87	1,034.90
1株当たり当期純利益(円)*	69.44	52.82	34.02	38.89	42.93
自己資本利益率(%)	8.1	5.4	3.3	3.8	4.2
総資産経常利益率(%)	11.7	5.8	3.5	4.7	6.2
株価収益率(倍)**	16.6	45.4	43.9	27.6	29.2
配当金額(単体)(円)	2,000	20	20	16	18
配当性向(連結)(%)	28.8	37.9	58.8	41.1	41.9
純資産配当率(連結)(%)	2.3	2.1	1.9	1.6	1.8

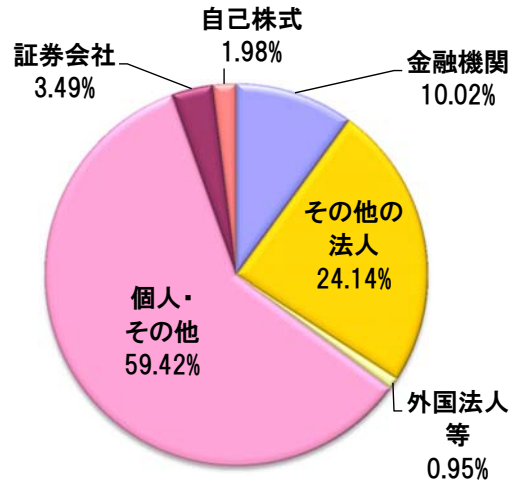
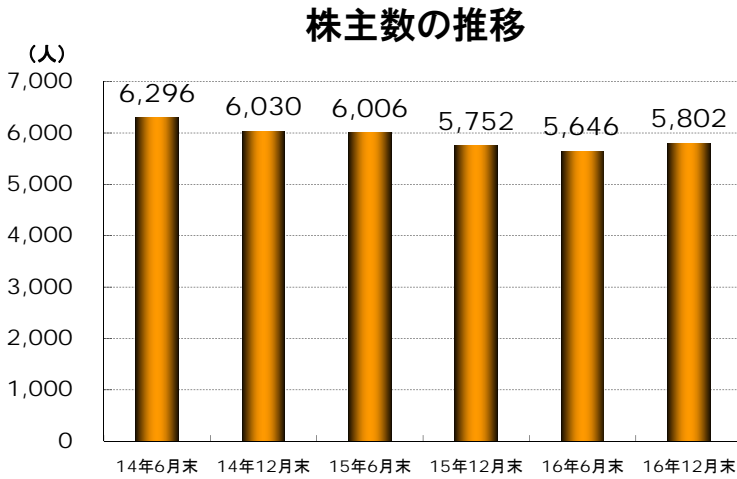
* 2013年1月に1株につき100株の株式分割を行ったことに伴い、1株当たり純資産、1株当たり当期純利益を遡及修正しています

** 株価は12月期の末日終値

株式の状況(2016年12月末現在)

発行可能株式総数	18,361,600株
発行済株式の総数	6,048,000株
自己株式数	120,000株

所有者別株式分布状況



社会貢献活動

『公開講座応援団』

大学等が行う公開講座に協賛し、ライフサイエンスの面白さと楽しさを伝えるお手伝いをしています



『世界一いきたい科学広場in宗像』

【講座の一例】

『iGEM生物ロボットコンテスト 参加日本チームへの支援』

米国マサチューセッツ工科大学で毎年行われている「生物ロボット」コンテストに参加する日本の大学チームを、資金援助を通して応援しています

『北海道大学』

【参加された
チームの一例】



『消化管 体験ツアー』

食道から大腸まで、子供が潜り抜けられるトンネル構造模型です



『Science Signaling』

米国科学振興協会が発行する“Science Signaling”の日本語サイトを当社ウェブ上で運営しています



株価推移(2016/1/4~2017/3/31)

